

西宮市立郷土資料館報

平成 25 年度 (2013)

	目次
I 西宮市立郷土資料館の運営	p. 1
1 常設展示	p. 1
2 特別展示	p. 6
3 特集展示	p. 7
4 ミニ展示	p. 8
5 指定文化財公開	p. 8
6 教育普及	p. 9
7 共催・後援事業	p.12
8 資料の収集・保存・調査・研究	p.15
9 文化財調査ボランティア	p.17
II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営	p.19
1 平成 25 年度利用状況	p.19
2 教育普及	p.20
III 西宮市立郷土資料館条例及び施行規則	p.21

Ⅰ 西宮市立郷土資料館の運営

1. 常設展示（平成 26 年 3 月 31 日現在）

西宮の歴史をテーマに郷土のあゆみを、実物資料・模型・ジオラマ・パネルによって、視覚的・立体的に構成し、郷土の歴史・文化に関する知識と理解を深めることができるように展示した。

常設展示資料数

実物：246 点、複製：9 点、模型：4 点、ジオラマ：1 点、パネル：81 点、こども向けパネル：15 点、図：7 点、写真：58 点、年表：4 点 合計：425 点

(1) テーマ 西宮の歴史 西宮の歴史を概観し、その発展の過程を理解する。

(2) 展示

i わたくしたちのまち にしのみや

現在の西宮を代表する景観・情景を、写真で紹介する。

<パネル> 船坂の寒天づくり / 山口町の竹細工 / 名塩の紙すき / 名塩の斜行エレベーター / 山口町の農村風景 / 鷲林寺の紅葉 / 学園花通り / 仁川渓谷 / 北山緑化植物園 / 門戸厄神の大祭 / 航空写真 / 武庫川の夕暮れ / 阪神甲子園球場 / 今津小学校の六角堂 / 西宮ヨットハーバー / 旧甲子園ホテル

ii 西宮の地形

市域の地勢を地形模型で紹介する。

<模型> 1 万分の 1 地形模型

iii 西宮の文化財

市域内の国・県・市の指定文化財を紹介する。

<パネル> 木造大日如来坐像（西広寺） / 木造善導大師坐像（昌林寺） / 絹本着色四社明神画像（永福寺） / 善恵上人伝絵（浄橋寺） / 西宮神社表大門 / 公智神社神輿殿 / 西宮の文化財（地図） / 海清寺の大クス / 浄橋寺石造五輪塔 / 石造七重塔（鷲林寺） / 指定文化財一覧 / 甲山湿原 / 灘西造用具一式 / 山口袖下踊り / 関西学院構内古墳石室 / 青石古墳

自然史

1 西宮の基盤

西宮地方の成り立ちを自然史の分野から概観する。

<実物> 神戸層群の珪化木 / 有馬層群・流紋岩 / 甲山安山岩 / 六甲カコウ岩 / 丹波層群

<パネル> 広い海の時代 / 火の海列島時代 / 甲山の誕生・神戸層群古地理図

2 西宮の誕生 I

人類時代の西宮

<実物> 神戸層群の植物化石 / ラリックス層の植物化石（チョウセンゴヨウ / メタセコイヤ / エゴノキ / イラモミ / シリプトビシ） / アカシゾウの牙 / 満池谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本

<パネル> 寒冷な時代 / 温暖な時代 / マチカネワニ / アカシゾウ

3 西宮の誕生 II

<実物> 沖積層 / 中位段丘の礫層 / 高位段丘の赤色泥 / アズキ火山灰 / 大阪層群 / 丹波層群

<パネル>六甲山地の形成 / 高位段丘 / 航空写真 / 中位段丘 / 六甲山東麓から尼崎平野断面図

原始

原始・古代の人々の生活を、考古資料によって概観する。

<年表>先土器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代

<図>先土器時代地図 / 縄文時代遺跡分布図 / 弥生時代遺跡分布図(西摂) / 古墳分布図(西摂)

<写真>西宮市苦楽園六番町出土ナイフ形石器 / 芦屋市岩ヶ平出土ナイフ形石器 / 宝塚市出土有舌尖頭器 / 芦屋市朝日ヶ丘遺跡出土石器 / 大阪市森の宮遺跡貝層 / 大阪市長原遺跡出土縄文土器 / 尼崎市田能遺跡出土弥生土器 / 芦屋市会下山遺跡遠景 / 西宮市津門出土銅鐸 / 宝塚市中山出土銅鐸 / 芦屋市会下山遺跡出土鉄器 / 宝塚市安倉古墳出土鏡 / 宝塚市万籟山古墳竪穴式石室 / 神戸市五色塚古墳 / 西宮市越水山遺跡竪穴住居跡 / 西宮市関西学院構内古墳 / 宝塚市白鳥塚家形石棺 / 宝塚市中山荘園古墳

4 稲作のはじまり

<実物>仁川高台遺跡出土遺物 6点 / 甲子園口遺跡出土遺物 3点 / 越水山遺跡出土遺物 3点

<複製>津門出土の銅鐸 / 甲山山頂出土の銅戈

<パネル>弥生時代の集落 / 箕面市如意谷出土銅鐸 / 弥生時代の水田・石庖丁 / 青銅器出土地 / 越水山遺跡の竪穴住居・越水山遺跡の竪穴住居の炉跡 / 弥生時代竪穴住居内部推定図 / 銅鐸の鋳造

<こども向けパネル>いしぼうちょう / どうか

5 古墳文化の拡大 I

<実物>具足塚古墳出土遺物 46点

<パネル>具足塚古墳石室 / 具足塚古墳石室内部 / 具足塚古墳

6 古墳文化の拡大 II

<実物>関西学院構内古墳出土遺物 39点 / 五ヶ山古墳群第1号墳出土遺物 18点 / 五ヶ山古墳群第2号墳出土遺物 6点

<パネル>関西学院構内古墳 / 関西学院構内古墳石室実測図 / 上ヶ原台地北半部の古墳

<こども向けパネル>みみかざり

古代・中世

社寺の文化遺産と地域との関わりを、歴史のながれの中で概観する。

<年表>

<写真>複弁蓮華文軒丸瓦(神呪寺) / 木造不動明王坐像(神呪寺) / 浄橋寺梵鐘 / 木造如意輪観音坐像(神呪寺) / 善恵上人伝絵(浄橋寺) / 虎鬚師鍊画像(茂松寺) / 西宮神社大練塀 / 公智神社神輿殿 / 極楽寺弥陀石仏 / 浄橋寺石造五輪卒塔婆 / 浄橋寺石造五輪塔

7 神社仏閣が語るもの I

<複製>善恵上人伝絵

<パネル>公智神社神輿殿 / 西宮神社大練塀

8 神社仏閣が語るもの II

<実物>笠塔婆 / 石造五輪塔

<複製>弥陀石仏(極楽寺)

<パネル>宝篋印塔(西方寺) / 石造五輪塔(浄橋寺) / 石造七重塔(鷲林寺)

近世

江戸時代の西宮地方に発達した、産業・交通・文化の特質を概観する。

<年表>

<写真>西宮神社表大門／摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図（浄橋寺）／上総九十九里地引綱大漁獵正写之図／酒づくり風景（「摂津名所図会」）／耕織図屏風／菱垣新綿番船川口出帆之図／新酒番船入津繁栄図／摂州名塩村の紙漉図（「筑紫紀行」）／西宮宿（「山崎通分間延絵図」）／越木岩神社のおかけ踊り図絵馬（越木岩神社）／今津灯台／摂海に入ったロシア軍艦ゾアナ号／豊饒御陰参之図

9 農・漁業の発達

<実物>上総九十九里地引綱大漁獵正写之図／山海名産圖会 3点

<パネル>地曳き網の図

10 西宮・今津の酒造り

<実物>酒造道具の図を集めた本／新撰銘酒寿語録／名酒づくし

<複製>酒株札

<パネル>酒づくり風景（「摂津名所図会」）／酒造史年表／摂州十二郷の地域図

<こども向けパネル>さけかぶいだ

11 名塩紙

<実物>青箔下間似合／カブタ土／玉子間似合／尼子土／銀箔丁原紙／蛇豆土／箔下間似合／東久保土／漉舟株札／藩札 13点

<パネル>名塩の紙ができるまで／純雁皮紙（生漉）電子顕微鏡写真／雁皮紙（泥土入）電子顕微鏡写真／名塩の紙漉場

<ジオラマ>名塩の紙漉場

<こども向けパネル>なじおの土／はんさつ

12 西宮宿

<複製>行程記

<パネル>西宮の町場

<図>西宮宿之図

13 生瀬宿

<複製>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図

<パネル>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図解説

<模型>生瀬宿の町並み（30分の1）

<図>生瀬宿之図

14 灘酒の海上輸送と樽廻船

<実物>和磁石 5点／新酒番船入津繁栄図／船鑑札／新酒番船一番の杯／入船祝はっぴ

<複製>鳥羽日和山方角石／新酒番船一番札

<模型>樽廻船（20分の1）／今津燈台（10分の1）

<パネル>常夜灯／近世末期における主要航路図／輸送比較表／和船各部分名称図（弁財型）

<こども向けパネル>たるかいせん／わじしゃく／さかづき／はっぴ

民俗

15～17 西宮の米づくりと年中行事

<実物>くわ／すき／田植え用縄／田植え杵／からすき／田ぐつ／まぐわ／千歯こき／草取り器／がんづめ 2点／鎌 2点／万石通し／ふるい／箕／唐箕

<パネル>西宮の米づくりと年中行事

<こども向けパネル>まぐわ／がんづめ／とうみ

近・現代

明治維新と近代化へのあゆみ

<年表>

<写真> 大阪・神戸間の鉄道時刻表・運賃表 / 武庫郡今津学校 / 図 / 旧辰馬喜十郎住宅 / 旧辰馬喜十郎酒蔵 / 阪神電車開通の広告 / 阪急電車の開通(写真 / ポスター) / 甲東村住宅地の開発 / 今津発電所 / 完成間近の阪神甲子園球場 / 阪急西宮球場の開設 / 阪神武庫川線の三線軌条式線路 / 接收中の阪神甲子園球場 / 第19回全国選抜中学校野球大会 / 上ヶ原文教住宅地区 / 武庫川団地

<図> 市域の拡大

18 近代化へのあゆみ

産業・交通における文明開化の状況を資料を通して概観する。

<実物> 苦楽園のはがき 9点 / 香櫨園のはがき 7点 / 甲陽園のはがき 15点

<パネル> 土地開発の進展

<こども向けパネル> ウォーターシュート

19 教育の普及

明治時代後半期から第2次世界大戦までの学校教育を教科書を通して概観する。

<実物> 明治37年から昭和15年までに刊行された国定教科書 18点

<パネル> 明治30年代後半の小学校の様子(写真) 2点 / 就学児童数の変遷

<こども向けパネル> きょうかしよ

(3) 平成25年度利用状況

a. 常設展示室入場者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		25	27	26	14	27	19	27	26	24	23	24	26	288
個人入場者数		1,843	2,182	1,923	1,297	3,999	1,639	1,985	3,062	1,878	2,393	3,342	2,183	27,726
一般 団体	団体数	0	1	2	1	3	1	0	2	0	1	0	0	11
	入場者数	0	30	61	25	94	21	0	59	0	13	0	0	303
学 校 団 体	団体数	0	2	2	1	0	1	2	4	1	5	2	0	20
	入場者数	0	214	98	30	0	116	238	388	153	563	281	0	2,081
入場者数合計		1,843	2,426	2,082	1,352	4,093	1,776	2,223	3,509	2,031	2,969	3,623	2,183	30,110

b. 団体利用者一覧

一般団体

番号	月	日	団体名	人数	備考
1	5	14	西宮文化協会	30	
2	6	4	三七会	24	
3	6	6	ノーリツゆうゆう会	37	
4	7	31	東町リトミックサークル	25	
5	8	10	特別展示解説会	41	
6	8	17	親と子の郷土史講座	24	
7	8	18	親と子の郷土史講座	29	
8	9	18	NHK文化センター	21	
9	11	7	四条畷市立歴史民俗資料館	30	
10	11	14	安満自治会	29	
11	1	16	アップワーク	13	
			合計	303	

学校団体

番号	月	日	団体名	人数	備考
1	5	17	上甲子園小学校3年生	123	
2	5	24	鳴尾南中学校1年生	91	
3	6	6	上甲子園中学校1年生	90	
4	6	23	神戸松蔭女子学院大学	8	
5	7	13	流通科学大学	30	
6	9	20	北六甲台小学校3年生	116	
7	10	18	北夙川小学校3年生	154	
8	10	24	瓦木小学校3年生	84	
9	11	1	瓦林小学校3年生	167	
10	11	14	高木小学校3年生	193	
11	11	14	大手前大学	15	
12	11	15	大手前大学	13	
13	12	13	甲陽園小学校3年生	153	
14	1	24	今津小学校3年生	100	
15	1	28	安井小学校3年生	129	
16	1	29	苦楽園小学校3年生	105	
17	1	30	香櫨園小学校3年生	178	
18	1	31	深津小学校3年生	51	
19	2	7	浜脇小学校3年生	204	
20	2	26	高須小学校3年生	77	
			合計	2,081	

団体合計 31 団体 2,384 人

c. その他の利用

資料特別利用数：29 件・29 人・資料数 309 点

資料貸出利用数：15 件・244 点・341 日間

(4) 臨時休館期間

期間	目的
平成 25 年 7 月 16 日 (火) ~ 7 月 28 日 (日)	特別展示設営のため
平成 25 年 9 月 3 日 (火) ~ 9 月 8 日 (日)	特別展示撤収・常設展示復旧のため

2. 特別展示

第 29 回 西宮の前方後円墳 津門稲荷山古墳をさぐる

平成 25 年 7 月 30 日 (火) ~ 9 月 1 日 (日) 午前 10 時 ~ 午後 5 時 (開館日数：30 日間)

総観覧者数：4,610 人、一日平均観覧者数：153 人

実物資料数：180 点 (万籟山古墳:車輪石 (複製) / 石釧 (複製) / 琴柱形石製品 (複製) / 捺文鏡 (複製) / 四蟠文鏡 (複製) / 鉄鏃 (複製) / 金津山古墳:円筒埴輪 / 打出小槌古墳:人物埴輪 / 人物埴輪 (腕) / 人物埴輪 (複製) / 盾形埴輪 / 動物埴輪 (脚) / 円筒埴輪 5 点 / 若宮遺跡:円筒埴輪 / 月若遺跡:円筒埴輪 / 水堂古墳:三角縁神獣鏡 / 鉄刀 / 鉄槍 / 園田大塚山古墳:円筒埴輪 8 点 / 鞆形埴輪 / 杏葉 (複製) / 雲珠 (複製) / 轡 (複製) / 勝福寺古墳:円筒埴輪 8 点 / 銀装刀装具付大刀 / 梶子玉 / 画文帯神獣鏡 / 六鈴鏡 / 銀象眼刀装具付鉄刀 / 須恵器 / 御願塚古墳8:円筒埴輪 / 土師器 (壺) / 須恵器 / 御願塚古墳9:円筒埴輪 2 点 / 朝顔形埴輪 / 上臈塚古墳:円筒埴輪 / 形象埴輪 / 柏木古墳:円筒埴輪 / 鶴塚古墳:円筒埴輪 / 津門稲荷山古墳:円筒埴輪 10 点 / 須恵器 2 点 / 津門稲荷山古墳周辺地:円筒埴輪 10 点 / 盾形埴輪 / 住吉宮町遺跡:円筒埴輪 3 点 / 須恵器 / 住吉東古墳:円筒埴輪 2 点 / 朝顔形埴輪 / 馬形埴輪 (複製) / 家形埴輪 / 須恵器 / 滑石製白玉 / 滑石製双孔円板 / 鉄鏃 / 鉄刀 / 住吉宮町遺跡24:石突 / 鉄鏃 / 馬形埴輪 / 人物埴輪 2 点 / 鉄鍬先 / 住吉宮町遺跡32:円筒埴輪 5 点 / 朝顔形埴輪 / 線刻埴輪 / 土師器 / 須恵器 / 紡錘車 2 点 / 供献土器 / 考古小録 5 点 / 大井滝用水論所絵図)

パネル：6 点

写真シート：17 点

文字シート：78 点

キャプション：88 点

場所：常設展示室

関連行事 (全 3 回、参加人数のべ 120 人)

(1) 特別講演会

平成 25 年 8 月 21 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時

「海は見えているか-大阪湾北岸の主要古墳築造が示す諸問題-」魚津知克氏 (大手前大学史学研究所)

参加人数：53 人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

(2) 展示解説会

平成 25 年 8 月 10 日 (土) 午前 10 時 ~ 11 時

参加人数：41 人

場所：常設展示室

(3) 特別見学会

平成 25 年 8 月 10 日 (土) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時

参加人数：26 人

場所：東求女塚古墳・処女塚古墳・西求女塚古墳 (神戸市)

3. 特集展示

第39回 瓦林の大庄屋 岡本宇兵衛

平成25年4月2日(火)～5月12日(日)(開館日数:35日間) 観覧者数2,701人

展示資料数:17点(上瓦林村宗旨并家数人数御改帳/宗旨人家御改帳/覚日記/万覚日記帳 2点/御門通札/象通り候行列/朝鮮人來朝二付御用留帳/婚礼御祝儀受納覚帳(おとみ)/目録(生諸白ほか)/不祝儀帳一括/氏神両社并神宮寺來歴書/摂州甲山神呪寺由来/摂州北山巡道のり/伊勢參宮道中覚 2点/西国巡礼道中記)

タイトルパネル:1点

解説パネル:3点

解説キャプション:15点

解説シート:4点

場所:常設展示室

第40回 広田の唐箕職人 京屋治兵衛

平成25年5月14日(火)～7月14日(日)(開館日数:54日間) 観覧者数4,533人

展示資料数:13点(唐箕 7点/万石とおし 4点/改良万石の領収書/農具代金勘定書)

タイトルパネル:1点

解説パネル:4点

解説キャプション:3点

キャプション:13点

地図:1点

場所:常設展示室

第41回 浜町の桶師 仙太郎・末吉・千代松・隆義

平成25年12月17日(火)～平成26年2月2日(日)(開館日数:36日間) 観覧者数4,698人

展示資料数:58点(カマ 25点/底カマ 4点/平鉋 2点/内鉋 5点/外鉋 4点/オヒツ蓋の型 6点/木割り槌/締め木 3点/矢 2点/味噌樽 2点/浮樽/杓 2点/鋸)

タイトルパネル:1点

写真パネル:4点

解説パネル:4点

キャプション:20点

場所:常設展示室

第42回 高畑町遺跡展(2)

平成26年2月4日(火)～3月2日(日)(開館日数:24日間) 観覧者数2,527人

展示資料数:16点(木製井戸枠/木簡 2点/斎串 5点/木錘/曲物/須恵器坏/土師器皿/黒色土器壺/瓦器壺 2点/須恵器大甕)

タイトルパネル:1点

写真パネル:5点

解説パネル:6点

キャプション:10点

場所:常設展示室

第43回 西宮町の醫師 原老柳(西宮市立中央図書館と共催)

平成26年3月4日(火)～3月30日(日)(開館日数:24日間) 観覧者数1,838人

展示資料数：9点（葉箱／風呂敷／道具箱／原老柳・篠崎小竹対局の図／篠崎小竹七言長詩／緒方洪庵適々齋塾姓名録／原老柳囲碁免状／原老柳門譜／今世名家文鈔）

タイトルパネル：1点

写真パネル：2点

解説パネル：2点

キャプション：13点

場所：常設展示室

関連行事 特別講演会

平成26年3月12日（水）午後1時30分～3時10分

「原老柳はどこで亡くなったか 原老柳の学統と人脈」古西義曆氏（緒方洪庵記念財団除痘館記念資料室専門委員）

参加人数：24人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

4. ミニ展示

西宮市政ニュースコラム「とっとこ文化財 関西学院構内古墳」にあわせて開催した。

関西学院構内古墳出土遺物

平成25年6月5日（水）～7月10日（水）（開館日数：32日間） 観覧者数：2,496人

展示資料：59点（耳環5点／棗玉2点／ガラス製小玉35点／滑石製勾玉／碧玉製管玉7点／水晶製切子玉6点／須恵器3点）

解説キャプション：1点

5. 指定文化財公開

平成25年度 西宮の指定・登録文化財 近代の住宅建築（ひょうごヘリテージ機構と共催）

平成25年10月29日（火）～11月24日（日）（開館日数：24日間） 観覧者数：3,106人

展示資料：74点（浦家住宅模型／写真 73点）

タイトルパネル：1点

パネル：4点

解説パネル：5点

場所：常設展示室

関連行事（全3回、参加人数のべ31人）

（1）ギャラリートーク 小室千澄氏・藤原義照氏・山崎誠氏（ひょうごヘリテージ機構）

平成25年11月2日（土）午後2時～2時30分

参加人数：7人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

（2）現地見学会

「近代の住宅建築を見に行こう」 依嘉久氏・野山恭一氏（ひょうごヘリテージ機構）

平成25年11月8日（金）午後2時～4時

参加人数：19人

場所：浜甲子園地区

（3）ワークショップ

「親子で文化財の家を作ってみよう」 稲毛政信氏・長尾光仁氏・藤井成計氏（ひょうごヘリテージ機構）

平成25年11月17日（日）午前10時～11時30分

参加人数：5人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

6. 教育普及

郷土の歴史と文化をより深く理解してもらうために、講座の開催・出版・広報を行った。

(1) 講座・見学会

a. 第29回 親と子の郷土史講座（平成25年8月16日～18日、全6講座、事前申込参加人数104人、のべ117人）

平成25年8月16日（金） 午前10時～11時30分

阪急電車から見る西宮 松村亮先生（南甲子園小）

阪神電車駅物語 小山修治郎先生（北夙川小）

参加人数：20人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

平成25年8月16日（金） 午後1時～2時30分

古代体験～縄文ポシェットを作ろう～ 西岡健児先生（甲東小）・村田真吾先生（上甲子園小）

参加人数：22人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年8月17日（土） 午前10時～11時30分

古代体験～はにわを作ろう～ 西本英典先生（上ヶ原小）・菅原雅史先生（瓦林小）

参加人数：24人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成24年8月17日（土） 午後1時～2時30分

西宮の傀儡子について 梅木紀男先生（大社小）・人形芝居えびす座

参加人数：10人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年8月18日（日） 午前10時～11時30分

古代体験～前方後円墳の模型を作ろう～ 福庭万里子・森下真企（当館職員）

参加人数：29人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年8月18日（日） 午後1時～2時30分

阪神モダンズム～旧甲子園ホテルの歴史～ 國村真先生（生瀬小）・宮崎麻貴先生（生瀬小）

参加人数：12人

場所：西宮市立夙川公民館・実習室

b. 歴史ウォーク（全2回、参加人数のべ86人）

生瀬・木之元の地蔵を訪ねる

平成25年5月18日（土） 午前9時30分～12時30分

参加人数：32人

魅力再発見西国街道リレーウォーク

平成 25 年 10 月 6 日 (日) 午前 9 時 30 分 ~ 午後 2 時 30 分

参加人数 : 54 人

c. 西宮市立郷土資料館・宮水学園自主グループ「ミレニアム 2000 西宮」共同開催 歴史講座 (全 5 回、参加人数のべ 227 人)

平成 25 年 5 月 8 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分

第 25 回「大庄屋の生活 岡本宇兵衛の日記を読む」衛藤彩子 (当館職員)

参加人数 : 54 人

場所 : 西宮市立郷土資料館・講座室

平成 25 年 6 月 19 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 3 時 30 分

第 26 回「西宮と地藏信仰」細木ひとみ (当館職員)

参加人数 : 48 人

場所 : 西宮市立郷土資料館・講座室

平成 25 年 10 月 16 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時

第 27 回「西宮の石造物 西宮歴史調査団の活動からわかった新たな歴史」俵谷和子 (当館職員)

参加人数 : 39 人

場所 : 西宮市立郷土資料館・講座室

平成 25 年 12 月 18 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時

第 28 回「桶師と灘の酒」早栗佐知子 (当館職員)

参加人数 : 40 人

場所 : 西宮市立郷土資料館・講座室

平成 26 年 2 月 19 日 (水) 午後 1 時 30 分 ~ 午後 3 時 15 分

第 29 回「西宮の後期・終末期古墳」福庭万里子 (当館職員)

参加人数 : 46 人

場所 : 西宮市立郷土資料館・講座室

(2) 印刷・出版

a. 『行事予定表』

b. 『西宮の前方後円墳 津門稲荷山古墳をさぐる』(西宮市立郷土資料館第 29 回特別展示案内図録)

c. 『特別展示ポスター』

d. 『特別展示チラシ』

e. 西宮市文化財資料第 60 号 『八十塚古墳苦楽園支群第 5・6・7 号墳発掘調査報告書』

f. 西宮市文化財資料第 61 号 『西宮市における文化財の保存と活用に関する総合的な計画策定報告書』

g. 『西宮歴史調査団年報 2012 年度版』

h. 『西宮市教育文化センター 西宮市立郷土資料館報 平成 24 年度』

i. 『研究報告』第十集

j. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第 39 号

k. 『親と子の郷土史講座ポスター』

l. 『親と子の郷土史講座チラシ』

m. 『親と子の郷土史講座講義資料集』

(3) 広報

a. 西宮市政ニュース

- ・一般広報(4/10号、5/10号、6/10号、7/10号、7/25号、8/10号、9/10号、10/10号、11/10号、1/1号、1/25号、2/10号、2/25号、3/10号)
- ・コラム「とっとこ文化財」(協力)(4/10号、5/10号、6/10号、8/10号、9/10号、10/10号、11/10号、2/10号、3/10号)

b. インターネット(西宮市立郷土資料館 on the web)

西宮市インターネットサイト内に「歴史と文化財」として、郷土資料館および文化財に関する情報ページを運営した。
URL=http://www.nishi.or.jp/homepage/kyodo/(平成26年2月23日で閉鎖)

c. ケーブルテレビ

「The文化財探訪」(THE文化財探訪Firstシリーズを振り返って(平成25年4月)/神呪寺と鷲林寺~古い寺々とその伝説(前編)(平成25年7月)/神呪寺と鷲林寺~古い寺々とその伝説(後編)(平成25年8月)/段上地区~西廣寺(平成25年9月)/伝説を歩く観音寺・岡太神社(平成25年11月)/西宮神社(前編)(平成26年1月)/西宮神社(後編)(平成26年2月)/名塩の雁皮紙(平成26年3月))

d. ラジオ

さくらFM「歴史と文化の散歩道」(「特集展示 瓦林の大庄屋岡本宇兵衛」4月27日/「【文化財保存活用にしのみや計画】のパブリックコメント」5月4日/「西宮歴史調査報告書『西宮の地蔵』の刊行」5月11日/「特集展示 広田の唐箕職人京屋治兵衛」5月25日/「西宮小史(1) 自然史(1)」6月8日/「西宮小史(2) 自然史(2)」6月15日/「西宮小史(3) 弥生時代」7月13日/「西宮小史(4) 古墳時代」7月20日/「特別展示 西宮の前方後円墳(1)」8月3日/「特別展示 西宮の前方後円墳(2)」8月10日/「山口の袖下踊り」8月31日/「高木西町遺跡」11月9日/「西宮小史(5) 奈良時代~平安時代」11月30日/「西宮小史(6) 鎌倉時代~室町時代」12月7日/「特集展示 浜町の桶師 仙太郎・末吉・千代松・隆義」12月21日/「西宮の正月行事」12月28日/「西宮小史(7) 戦国時代~江戸時代」1月25日/「西宮小史(8) 江戸時代」2月1日/「特集展示 高畑町遺跡展(2)」2月8日/「特集展示 西宮町の醫師 原老柳」3月15日/「西宮小史(9) 幕末・明治維新」3月22日)、「SakuっとLa・ら・Ra西宮」(11月25日)、「聞いてなるほど西宮市政」(「文化財保存活用にしのみや計画」4月2日/「第29回特別展示西宮の前方後円墳」8月1日)

d. その他

「西宮カルチャー・イベント・カレンダー」、『博物館研究』、『宮っ子』イベントボックス、「ひょうご考古学 まるごとミュージアム」イベント情報、ひょうごインターキャンパス、恋するフォーチュンクッキー西宮観光Ver.

(4) トライやるウィーク

学校：西宮市立甲陵中学校2年生

人数：2人

期間：平成25年5月27日(月)~5月31日(金)

実施日時	実施内容(午前)	実施内容(午後)
第1日 平成25年5月27日(月)	天然記念物調査	オリエンテーリング
第2日 平成25年5月28日(火)	資料整理実習(図書)	資料整理実習(図書)
第3日 平成25年5月29日(水)	文化財パトロール実習	文化財パトロールまとめ
第4日 平成25年5月30日(木)	常設展示室の研究	名塩和紙学習館
第5日 平成25年5月31日(金)	常設展示室の研究実習	全体総括会

(5) 職員の出講事業

派遣先	講座名	出講日	講師名
関西大学	博物館展示論	平成25年4月～平成25年9月	西川卓志
関西大学	博物館実習	平成25年4月～平成26年3月	合田茂伸
関西大学	アジアからみた日本の歴史	平成25年9月～平成26年3月	合田茂伸
甲山百八会	甲山八十八ヶ所の調査について	平成25年6月1日	俵谷和子
大学交流センター	宮水学園「西宮再発見！ふるさと民話朗読講座「西宮の民話について」	平成25年7月1日	合田茂伸
大学交流センター	宮水学園「西宮の歴史と郷土の文化財」	平成25年7月10日	西川卓志
流通科学大学	西宮～堺の旧海岸をたどる	平成25年7月13日	俵谷和子
生瀬地区	第2回社会科教育研修「歩こう知ろう西宮」	平成25年7月30日	西川卓志
鳴尾・小松地区	第5回社会科教育研修「歩こう知ろう西宮」	平成25年8月30日	西川卓志
西宮まちたび博	広田神社を知り尽くす	平成25年10月18日	合田茂伸・俵谷和子
上ヶ原中学校	第6回社会科教育研修	平成25年10月3日	合田茂伸
西宮まちたび博	西宮の知られざる神話と伝説まちあるき	平成25年11月10日	合田茂伸・俵谷和子
総合福祉センター	西宮の歴史～文化財で旅する～	平成25年11月7日	西川卓志
阪神南泉民局	あなたの街再発見～街道と西宮～	平成26年3月6日	合田茂伸
大阪府立弥生文化博物館	めもとDE考古学「高畑町遺跡で検出された弥生時代前期の竪穴住居跡について」	平成26年3月22日	合田茂伸

7. 共催・後援事業

(1) 講座・講演会

a. (公財) 黒川古文化研究所 夏季講座 (参加人数のべ291人)

平成25年7月27日(土) 午前9時30分～12時30分

テーマ：日本・中国の神話伝説と祭祀

「伊勢神宮の伝承と祭祀」榎村寛之氏(斎宮歴史博物館学芸普及課長)

「良渚文化の王冠 動物と古代王権」小南一郎氏(泉屋博物館館長・京都大学名誉教授)

参加人数：144人

場所：西宮市立勤労会館ホール

平成25年7月28日(日) 午前9時30分～12時30分

「長江文明の天と祭祀 四川三星堆の図像学」曾布川寛氏(黒川古文化研究所所長・京都大学名誉教授)

「弥生時代の龍信仰と祭祀」春成秀爾氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)

参加人数：147人

場所：西宮市立勤労会館ホール

b. (公財) 辰馬考古資料館 講演会

平成25年11月16日(土) 午後1時30分～午後3時10分

「縄文土偶の形とマツリ」大野薫氏(大阪府教育委員会)

参加人数：31人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

c.西宮博物館・資料館連携講座(全9回、参加人数のべ234人)

平成25年9月18日(水) 午後1時30分～3時

第1回「おかげ参り・おかげ踊り・ええじゃないか」俵谷和子(当館職員)

参加人数:30人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年10月23日(水) 午後1時30分～3時

第2回「首を伸ばした土偶 館蔵の亀ヶ岡出土品をめぐって」青木政幸氏(公益財団法人辰馬考古資料館学芸員)

参加人数:22人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年11月6日(水) 午後1時30分～3時

第3回「和鏡の文様 そこに込められた意味」川見典久氏(公益財団法人黒川古文化研究所研究員)

参加人数:20人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年12月4日(水) 午後1時30分～3時

第4回「西宮出身の画家・森祖仙と周辺の画家たち」杉本欣久氏(公益財団法人黒川古文化研究所研究員)

参加人数:22人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年12月25日(水) 午後1時30分～3時

第5回「近世酒造史研究を顧みて」大浦和也氏(公益財団法人白鹿記念酒造博物館学芸員)

参加人数:22人

場所:白鹿記念酒造博物館・視聴覚室

平成26年1月15日(水) 午後1時30分～3時45分

第6回「古代白眉の名剣-陰・陽剣と三寅剣-」水野正好氏(公益財団法人辰馬考古資料館館長・奈良大学名誉教授)

参加人数:31人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年2月5日(水) 午後1時30分～3時5分

第7回「中世西宮町を掘る～西宮神社社頭遺跡の発掘調査～」合田茂伸(当館職員)

参加人数:44人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成25年3月5日(水) 午後1時30分～3時15分

第8回「中国絵画の樹木表現とその意味について」竹浪遠氏(公益財団法人黒川古文化研究所研究員)

参加人数:18人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年3月26日(水) 午後1時30分～3時5分

第9回「笹部新太郎翁とさくらコレクション」柴橋明子氏(公益財団法人白鹿記念酒造博物館学芸員)

参加人数:25人

場所:白鹿記念酒造博物館・視聴覚室

d. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携講座「市民が語る西宮いまむかし物語」

平成25年11月22日(金) 午後2時～3時

第1回「平安貴族の旅日記～京から西宮を通して～」曲江三郎氏(西宮歴史調査団)

「平安貴族の西国紀行」合田茂伸(当館職員)

参加人数: 80人

場所: 西宮市立北口図書館 AVホール

e. 西宮市立鳴尾図書館・郷土資料館連携講演会

第1回「武庫川・鳴尾・甲子園～甲子園前史」合田茂伸(当館職員)

平成25年11月23日(土・祝) 午後2時～3時30分

参加人数: 41人

講演会の開催にあわせて出張展示を行った。

展示期間: 平成25年11月21日(木)～12月20日(金)

展示資料: 3点(阪神電鉄ポスター 新装なれる鳴尾の競馬/阪神電鉄ポスター お正月には浜甲子園阪神パークへ/阪神電鉄ポスター 鳴尾の母狩)

解説ラベル: 3点

(2) 展覧会

a. (公財) 黒川古文化研究所

平成25年4月13日(土)～5月12日(日)

第109回展覧「黒川古文化研究所名品展」

平成25年10月19日(土)～11月17日(日)

第110回展覧「鏡に込められたおもい 日本人の信仰と吉祥」

b. (公財) 白鹿記念酒造博物館

平成25年3月20日(祝・水)～5月27日(月)

春季特別展「笹部さくらコレクション 三熊派 江戸の桜狂画家」

平成26年3月19日(水)～5月26日(月)

春季特別展「笹部さくらコレクション 暮らしの中にみる桜」

8. 資料の収集・保存・調査・研究

(1) 収蔵資料の概要 (合計: 37,725 点)

	民俗資料	教育史資料	考古資料	歴史資料	戦時生活資料	合計
平成24年度まで	8,669	17,166	638	10,244	958	37,675
平成25年度寄贈	0	0	0	10	0	10
平成25年度購入	0	0	0	40	0	40
平成25年度制作	0	0	0	0	0	0
累計	8,669	17,166	638	10,294	958	37,725

a. 購入資料

歴史資料

西宮市勢要覧(昭和14年度版)/絵はがき(精道村役場外観 精道村 低地区配水池)/絵はがき(精道村水源取水堰堤)/絵はがき(精米所及醸造場 西宮酒造株式会社)/絵はがき(甲子園ホテル)/絵はがき(拡張工事成れる甲子園大野球場)/絵はがき(甲子園ホテル 阪神国道よりの夜景)/絵はがき(聖女小さきテレジアの天主堂 兵庫県西宮市夙川)/絵はがき(聖体行列 カトリック教会)/甲子園花形選手人気番附 附録付/摩耶山天上寺略縁起/藩札 13点/私札/駄賃札他 5点/関西学院六十年史(昭和24年刊行)/関西学院七十年史(昭和34年刊行)/創立八十周年記念誌(鳴尾小学校)(昭和28年刊行)/パインクレスト(No.49)/阪神電車沿線案内/近代アパートメント設計図面集 3点/第二阪神国道工事誌/阪神高速道路若返り工事

b. 寄贈資料

歴史資料

私札/札/原老柳古稀記物帳 2点/袱紗 6点

(2) 図書を寄贈いただいた機関

明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、赤穂市立美術工芸館 田湍記念館、赤穂市立歴史博物館、(独)国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館、尼崎市立田能資料館、尼崎市立地域研究史料館、池田市立歴史民俗資料館、板橋区立郷土資料館、泉佐野市立歴史館いづみさの、岩手県立博物館、伊丹市立博物館、伊丹市立美術館、一宮市博物館、岩手県立博物館、植村直己冒険館、宇治市歴史資料館、海の博物館、愛媛県歴史文化博物館、大分市歴史資料館、大阪市立住まいのミュージアム 大阪くらしの今昔館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪歴史博物館、大津市歴史博物館、大山崎町歴史資料館、小野市立好古館、香川県立ミュージアム、鹿児島大学総合研究博物館、柏原市立歴史資料館、葛城市歴史博物館、神奈川県立歴史博物館、上郡町郷土資料館、関西大学博物館、北九州市立自然史・歴史博物館 いのちのたび博物館、岐阜市歴史博物館、京都市考古資料館、京都市歴史資料館、京都府京都文化博物館、京都府立丹後郷土資料館、京都府立山城郷土資料館、(公財)虚子記念文学館、草津市立草津宿街道交流館、熊本市立熊本博物館、呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)、神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館、神戸深江生活文化史料館、(独)国立科学博物館、(共)人間文化研究機構、国立歴史民俗博物館、斎宮歴史博物館、埼玉県立川の博物館、堺市博物館、坂の上の雲ミュージアム、昭和館、吹田市立博物館、世田谷区立郷土資料館、太子町立歴史資料館、大東市立歴史民俗資料館、高槻市立今城塚古代歴史館、高槻市立しろあと歴史館、(公財)竹中大工道具館、鉄斎美術館、天理大学付属天理参考館、(公財)東京都江戸東京博物館、同志社大学歴史資料館、豊橋市美術博物館、山崎記念中野区立歴史民俗資料館、長野市立博物館、名古屋博物館、奈良県立民俗博物館、南丹市立文化博物館、新潟市歴史博物館、(公財)西宮市大谷記念美術館、西宮市貝類館、西脇市郷土資料館、(財)日本のあかり博物館、日本はきもの博物館・日本郷土玩具博物館、沼津市歴史民俗資料館、(公財)白鹿記念酒造博物館、博物館さかのり人形の家、パナソニック汐留ミュージアム、播磨町郷土資料館、東大阪市立郷土博物館、彦根城博物館、姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立美術館、兵庫陶芸美術館、平塚市博物館、福岡市博物館、府中市郷土の森博物館、みくに龍翔館、向日市文化資料館、明治大学博物館、八尾市立歴史民俗資料館、野洲市歴史民

俗博物館、立命館大学国際平和ミュージアム、和歌山県立文書館、和歌山県立博物館、和歌山市立博物館

(公財) アイヌ文化振興・研究推進機構、赤沼眞通子、朝日新聞出版、芦屋学研究会、尼崎芸術文化協会、江本純三、(公財) 大阪市博物館協会、大阪文化財研究所、大阪大学出版会、大阪大学埋蔵文化財調査委員会、(公財) 大阪府文化財センター、大阪歴史学会、大手前大学史学研究所、(財) 緒方洪庵記念財団 除痘館記念資料室、岡山県古代吉備文化財センター、お茶の水女子大学芸員課程、小野の歴史を知る会、加西市歴史街道ボランティアガイド、かもがわ出版、川西市文化遺産継承・活性化事業実行委員会、(公財) 元興寺文化財研究所、(学) 関西学院、関西学院大学史学会、神呪寺、岐阜の茶の湯展実行委員会、京都大学大学院文学研究科考古学研究室、(公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター、苦楽園自治会、(公財) 黒川古文化研究所、高知大学人文学部考古学研究室、甲南大学、(学) 神戸女学院、神戸女子大学古典芸能研究センター、神戸女子大学文学部史学科、神戸女子民俗学会、神戸新聞総合出版センター、神戸大学大学院 人文学研究科地域連携センター、國學院大學博物館学研究室、國學院大學文学部考古学研究室、滋賀県立大学人間文化学部、滋賀民俗学会、全国史跡整備市町村協議会近畿地区協議会、多可町文化遺産活性化事業実行委員会、宝塚の古文書を読む会、たつの市埋蔵文化財センター、(株) ディアゴスティーニ・ジャパン、(公財) 伝統文化活性化国民協会、東邦大学附属東邦高等学校東邦考古学研究会、豊岡市歴史文化遺産活用活性化事業実行委員会、(公財) 長岡市埋蔵文化財センター、奈良市埋蔵文化財調査センター、奈良女子大学文学部人文社会学科地域環境学コース、奈良大学文学部文化財学科、(独) 国立文化財機構奈良文化財研究所(企画調整部文化財情報研究室)、(独) 国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター、新潟市文化財センター、西宮歌人協会、西宮市立甲陵中学校、西宮神社、西宮文化協会、(公社) 日本文化財保護協会、(公社) 日本ユネスコ協会連盟、(社) ノオト発掘された明石の歴史展実行委員会、花園大学史学会、(公財) 阪急文化財団、美術館連絡協議会、姫路市立城郭研究室、兵庫県市町教育委員会連合会、(公財) 兵庫県まちづくり技術センター(埋蔵文化財調査部)、兵庫県歴史文化遺産活用活性化事業実行委員会、(公財) 枚方市文化財研究調査会、藤田卯三郎(株) 文化環境研究所、埋蔵文化財天理教調査団、宮水学園自主グループ ミレニアム2000 西宮、元伊勢籠神社、(公財) 八尾市文化財調査研究会、吉川弘文館

県市町村及び教育委員会(明石市、赤穂市、朝来市、芦屋市、尼崎市、淡路市、池田市、和泉市、泉佐野市、板橋区、伊丹市、茨木市、うきは市、越前市、大阪狭山市、岡山市、小野市、小浜市、貝塚市、海南市、加西市、橿原市、柏原市、かつらぎ町、加東市、上郡町、河内長野市、川西市、北九州市、北見市、神戸市、堺市、佐用町、三田市、吹田市、泉南市、総社市、太子町、大東市、高岡市、宝塚市、多可町、高槻市、丹波市、豊岡市、富田林市、長岡京市、新潟市、西宮市、能勢町、藤井寺市、姫路市、兵庫県、福岡市、福崎町、福山市、米原市、松原市、三木市、三豊市、南あわじ市、箕面市、八尾市、野洲市)

(3) 調査・研究

a. 収蔵資料の調査研究

- 民俗資料の分類整理作業を実施した。
- 歴史資料(古文書)の整理作業を実施した。
- 教育史資料の分類整理作業を実施した。
- 考古資料(八十塚古墳遺物)の整理作業を実施した。

b. 専門分野の調査研究

- 民間信仰(講)の調査研究
- 祭礼に関する調査研究
- 生業に関する調査研究
- 滝の調査(信仰の対象)
- 尼崎藩大庄屋に関する研究
- 八十塚古墳群出土遺物の調査
- 徳本寺所蔵資料の調査

(4) 収蔵資料の燻蒸処理

有害生物除去のため展示室および収蔵庫の燻蒸を下記の薬剤により行った。

燻蒸処理（歴史資料、民俗資料、古文書、教科用図書等）

場所：常設展示室、第1・第2・第3・第4収蔵庫

実施日：平成25年12月2日（月）

使用薬剤：エコミューア-FT ドライ防虫ガス、ライセント殺黴ガス

9. 文化財調査ボランティア（西宮歴史調査団）

(1) 調査活動（登録者26人、のべ534人、121日 ただし個人活動は除く）

平成18年度より行っている市民主体の資料調査事業である。1年間を通して活動し、月1回の定例会を行うとともに、参加者が3班に分かれ市内の調査を進めた。班を重複した参加者もいた。

a. 石造物調査班

西宮神社に伝わる石造物について、所在、法量、材質、銘などを調査し、記録した。

調査員数：11人

b. 橋梁調査班

四十谷川・有馬川・船坂川・武庫川をはじめ市内の18河川に架かる橋梁の現況や名称の由来等を調査し、記録した。

調査員数：7人

c. 古文書調査班

旧西宮町の宗旨人別帳の翻刻を行った。

調査員数：10人

(2) 定例会（全12回、参加人数のべ208人）

4月定例会 平成25年4月13日（土） 午前9時30分～12時

内容：団員の顔合わせ 自己紹介

参加人数：19人

5月定例会 平成25年5月11日（土） 午前9時30分～12時

内容：オリエンテーション（報告書『西宮の地蔵』の刊行について）

参加人数：19人

6月定例会 平成25年6月8日（土） 午前9時30分～12時

内容：「登録博物館」について・収蔵庫見学

参加人数：20人

7月定例会 平成25年7月13日（土） 午前9時30分～12時

内容：文化財見学会（昌林寺）

参加人数：18人

8月定例会 平成25年8月10日（土） 午前9時30分～15時

内容：特別展示の解説・古墳見学会

参加人数：17人

9月定例会 平成25年9月14日（土） 午前9時30分～12時

内容：ミニ報告会（戦跡と文化財）

参加人数：18人

10月定例会 平成25年10月12日（土） 午前9時30分～15時

内容：文化財見学（旧山本家住宅・浦家住宅）・甲山八十八ヶ所見学会

参加人数：20人

11月定例会 平成25年11月9日（土） 午前9時30分～12時

内容：現地解説会「西宮歴史調査団と歩く旧西宮町」

参加人数：18人

12月定例会 平成25年12月14日（土） 午前9時30分～12時

内容：ミニ報告会（鳴尾の義民）

参加人数：17人

1月定例会 平成26年1月11日（土） 午前9時30分～12時

内容：ミニ報告会（武庫川に架かる橋）

参加人数：15人

2月定例会 平成26年2月8日（土） 午前9時30分～11時30分

内容：報告会準備

参加人数：13人

3月定例会 平成26年3月8日（土） 午前9時30分～12時

内容：報告会・登録会

参加人数：14人

(3) その他活動

a. 現地報告会

平成25年11月9日（土） 午前9時30分～12時

「西宮歴史調査団と歩く旧西宮町」

参加人数：31人（調査団員18人、一般参加者13人）

b. 平成25年度活動報告会・平成26年度登録会

平成26年3月8日（土） 午前9時30分～12時

参加人数：18人（調査団員14人、一般参加者4人）

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

c. 平成25年度活動報告パネル展

平成26年3月4日（火）～平成26年4月12日（土）

場所：西宮市立郷土資料館・事務所前

d. 西宮歴史調査団年報

西宮歴史調査団年報平成24年度(2012)版 平成26年1月31日発行

e. 西宮歴史調査団通信

毎月定例会に発行し、郷土資料館事務所前に掲示した。

f. 西宮歴史調査団ニュース

第1号「新堀川はし物語 橋梁調査班・新堀川チームの調査から」平成26年3月31日発行

II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営

伝統産業である「名塩紙」(国指定・兵庫県指定無形文化財)への理解を深めることを目的に、常設展示室において関連資料の展示を行うとともに、紙すき実習の指導を行った。なお、和紙学習館の運営にあたっては、その一部を名塩和紙学習館紙すき推進委員会に委託した。

1. 平成 25 年度利用状況

(1) 紙すき体験学習

事前に申し込みのあった団体に、専門の指導員が実習の指導を行った。

紙すき実習利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者総数	92	435	601	40	24	95	777	738	358	105	159	48	3,472
学校利用者数	0	422	601	0	0	87	765	698	302	97	121	0	3,093
一般利用者	92	13	0	40	24	8	12	40	56	8	38	48	379

(2) 常設展示

名塩紙の特徴やその歴史を深く理解してもらうため、紙すき道具や製品を展示するとともに、実際に紙をすく様子を撮影したVTRを映写し、観覧者の学習に供した。

展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入場者総数	56	13	28	28	36	3	61	19	27	9	11	34	325
市内入場者数	3	3	5	3	22	3	26	1	4	2	2	18	92
市外入場者数	53	10	23	25	14	0	35	18	23	7	9	16	233

(3) 利用料金等

a. 実習指導負担金(市外の方は倍額 別途材料費)

10人～16人の団体：11,000円

17人～24人の団体：13,500円

25人～40人の団体：16,000円

b. 施設使用料等(上段：施設使用料、下段：冷暖房費、市外の方は倍額)

使用区分	実習室	集会室
9時～12時	1,000円	1,000円
	200円	200円
12時30分～17時	1,300円	1,300円
	260円	260円

2. 教育普及

少人数による和紙学習館利用を促進するため、郷土資料館紙すき教室を隔月で実施した。また、名塩紙の理解をより深めるため、原料の調整から紙すきまで全体を学習する実習講座を実施した。

(1) 郷土資料館紙すき教室

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙漉き推進委員会）

場所：名塩和紙学習館実習室

参加人数：のべ28人

- 第1回 平成25年5月19日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：5人
- 第2回 平成25年7月14日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：8人
- 第3回 平成25年9月8日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：8人
- 第4回 平成25年11月10日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：7人

(2) 名塩紙学習講座

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館実習室

参加人数：のべ31人

「本格紙漉きに挑戦！雁皮から紙をすいてみよう」

- 第1日 平成26年1月31日（金） 午後1時～3時30分
オリエンテーション／雁皮あらみしり・みずより
- 第2日 平成26年2月1日（土） 午前10時～午後3時30分
釜たき／ちりより・しかけ
- 第3日 平成26年2月2日（日） 午前10時～12時
抄紙／紙はき
- 第4日 平成26年2月4日（火） 午後1時～3時30分
板下ろし／仕上げ／和紙よもやま話

III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則

1. 西宮市立郷土資料館条例

(昭和59年12月28日)

(西宮市条例第17号)

沿革

平成12年3月30日 条例59号 [1]

平成13年12月26日 条例20号 [2]

(設置)

第1条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、もつて市民の教育、文化の向上に資することを目的として、西宮市立郷土資料館(以下「資料館」という。)を設置する。

(位置)

第2条 資料館は、西宮市川添町15番26号に置く。

(分館) [2]

第2条の2 資料館の分館として名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)を置く。 [2]

2 学習館は、西宮市名塩2丁目10番8号に置く。 [2]

(事業)

第3条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料(以下「資料」という。)の収集、保管及び展示並びに和紙実習等に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

[2]

(職員)

第4条 資料館に、館長その他の職員を置く。

(観覧料)

第5条 資料館の観覧料は無料とする。ただし、西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要と認めるものについては、委員会が定めるところにより、観覧料を徴収することができる。

(使用の許可等) [2]

第6条 別表に掲げる学習館の施設を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。 [2]

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 管理運営上支障があるとき。
- (5) その他委員会が使用を不相当と認めるとき。

[2]

(使用料の納付等) [2]

第7条 前条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)は、別表に定める使用料を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。 [2]

2 既に納付した使用料は、返還しない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、その全額又は一部を返還することができる。 [2]

(使用許可の取消) [2]

第8条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 第6条第2項各号のいずれかに該当するとき。
- (2) この条例又はこの条例に基づく委員会規則に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、公益上委員会が特に必要と認めるとき。

[2]

(使用権の譲渡等の禁止) [2]

第9条 使用者は、学習館の使用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。 [2]

(特別利用の許可)

第10条 資料の模写、模造、撮影その他特別利用をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。 [2]

(原状回復等) [2]

第11条 資料館の施設等を汚損し、破損し、又は滅失した者は、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めるときは、賠償の額を減免することができる。 [2]

(入館の制限) [1]

第12条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序、善良な風俗その他公益を害し、又はそのおそれがある者
- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他管理上必要な指示に従わない者

[1] [2]

(規則への委任)

第13条 この条例の施行について必要な事項は、委員会規則で定める。 [1] [2]

付 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月30日西宮市条例第59号 [1] 西宮市立図書館条例等の一部を改正する条例3条による改正付則)

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年12月26日西宮市条例第20号 [2])

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

別表 (第6条、第7条関係)

[2]

学習館使用料

区分		午前9時から正午まで	午後0時30分から午後5時まで
施設	実習室	1,000円	1,300円
	集会室	1,000円	1,300円

備考 使用者が市外居住者である場合の使用料は、本表に規定する額の倍額とする。

2. 西宮市立郷土資料館条例施行規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第11号)

沿革

平成14年2月12日 西教委規則16号 [1]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について別に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(観覧料)

第2条 条例第5条に規定する観覧料については、教育長が定める。

(特別利用)

第3条 資料の模写、模造、撮影等館内において特別利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、条例第10条の規定により、特別利用許可申請書を西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。 [1]

- 2 委員会が特別利用を許可したときは、特別利用許可書を交付する。
- 3 特別利用は、所定の場所において館長の指示に従って行わなければならない。
- 4 委員会は、第2項の許可をする場合において、必要な条件を付すことができる。

(館外貸出し)

第4条 資料の館外貸出しは、他の資料館、博物館、学校その他委員会が適当と認めるもののほか、受けることができない。

- 2 資料の館外貸出しを受けようとするものは、条例第10条の規定により館外貸出許可申請書を委員会に提出しなければならない。 [1]
- 3 委員会が資料の館外貸出しを許可したときは、館外貸出許可書を交付する。
- 4 資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。
- 5 委員会は、第3項の許可をする場合において、必要な条件を付すことができる。

(学習館の使用許可申請) [1]

第5条 条例第6条第1項の規定により学習館の施設を使用しようとする者は、学習館使用許可申請書(以下「申請書」という。)を委員会に提出しなければならない。 [1]

(学習館の使用許可) [1]

第6条 委員会は、学習館の使用を許可したときは、学習館使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。 [1]

(学習館の許可書の提示) [1]

第7条 使用者は、学習館を使用するときは、許可書を館長に提示し、その指示を受けなければならない。 [1]

(特別利用等の制限)

第8条 つぎの各号の一に該当するときは、特別利用および館外貸出しを許可しない。

- (1) 現に資料が展示されているとき。
- (2) 特別利用または館外貸出しにより資料の保存に影響があるとき。
- (3) 著作権者のある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。
- (4) 寄託された資料で、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) その他委員会が、不適当と認めるとき。

[1]

(特別利用の取消し等)

第9条 委員会は、特別利用または館外貸出しの許可を受けたものが、許可の条件に違反したときもしくはそのおそれがあるときまたは館の運営上必要があると認めるときは、特別利用または館外貸出しの許可を取消し、停止し、または資料の返還を命じることができる。

[1]

(資料の寄贈および寄託)

第10条 資料を寄贈または寄託しようとする者は、委員会に申出なければならない。 [1]

- 2 委員会は、館の運営上必要があると認めるときは、前項の申出を受けることができる。

- 3 受託期間は、1年以上とする。
- 4 受託資料は、特別の契約がある場合のほか、市所有のものと同様の取扱いをする。

(学習館使用料の減免申請) [1]

第11条 条例第7条第1項ただし書の規定により、学習館の使用料の減額又は免除を受けようとする者は、申請書にその旨を記載し、委員会の承認を受けなければならない。 [1]

(学習館の冷暖房費用の弁償) [1]

第12条 使用者は、学習館に備付けの冷房器及び暖房器を使用するときは、別表第1規定する額を弁償しなければならない。 [1]

- 2 前条の規定により学習館の使用料の減額又は免除を受けた使用者については、前項に規定する弁償金を減額し、又は免除する。 [1]

(休館日及び開館時間) [1]

第13条 資料館の休館日及び開館時間は、別表第2のとおりとする。 [1]

- 2 ただし、委員会が特に必要と認めるときは、前項の休館日及び開館時間を変更することができる。 [1]

(委任)

第14条 この規則に定める申請書その他の書類の様式およびこの規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。 [1]

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則(平成14年2月12日西教委規則第16号 [1])

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

別表第1(第12条関係)

[1]

区分		午前9時から正午まで	午後0時30分から午後5時まで
施設	実習室	200円	260円
	集会室	200円	260円

別表第2(第13条関係)

[1]

施設名	休館日	開館時間
資料館 (学習館を除く。)	西宮市教育文化センター管理規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第9号)に定めるところによる。	西宮市教育文化センター管理規則に定めるところによる。
学習館	1. 月曜日 2. 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで	午前9時から午後5時まで。 ただし、入館は午後4時まで

3. 西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱

(平成 14 年 3 月 27 日)

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、西宮市立郷土資料館条例(昭和 59 年西宮市条例第 17 号。以下「条例」という。)及び西宮市立郷土資料館条例施行規則(昭和 60 年西宮市教育委員会規則第 11 号。以下「規則」という。)に基づき、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)を社会教育施設として広く市民の利用に供するために必要な事項を定める。

(施設等の定義)

第 2 条 この要綱において、施設とは条例別表の各室の他、学習館に備付けの備品等をいう。

(使用各室の定義)

第 3 条 各室の定義は、別表第 1 のとおりとする。

(使用制限)

第 4 条 次の各号に該当するときは、使用を許可しない。

- (1) 社会教育法(昭和 24 年法律第 207 号)第 23 条に該当するとき。
- (2) 施設使用において、使用人数が 4 人以下のとき。ただし、実習指導を伴うときは、使用人数が 9 人以下又は 41 人以上のとき。
- (3) 飲酒・飲食を主たる目的とするとき。
- (4) 小学生以下の者だけの使用で、保護者等の同意書又は付添いのないとき。
- (5) 近隣に迷惑がおよぶおそれがあるとき。
- (6) その他、教育委員会が使用を不相当とみとめるとき。

(使用受付期間)

第 5 条 使用許可申請の受付は、使用しようとする日の属する月の 2 月前の初日から末日までとする。使用許可の決定は、紙すき実習指導及び名塩和紙に関する学習等の施設使用許可決定の後にその他の施設使用の許可決定を行なう。

(冷房器・暖房器の使用期間)

第 6 条 冷暖房器の使用期間は原則として、暖房器は 1 月から 6 月まで及び 10 月から 12 月までとし、冷房器は 7 月から 9 月までとする。

(使用料・弁償金の納付)

第 7 条 条例第 7 条第 1 項の規定による使用料の納付は、市が指定する金融機関で規則第 6 条に規定する使用許可書の交付日から 10 日を納期限とする。ただし、納期限の当日が当該金融機関の休業日のときは、翌営業日とする。

- 2 規則第 12 条第 1 項に定める冷暖房費用の弁償金(以下「弁償金」という。)の納付については、規則別表第 1 の額を前項に定める使用料と同じ方法・時期で納付しなければならない。
- 3 既に納付した弁償金は、返還しない。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)において特別の理由があると認めるときは、その一部又は全額を返還することができる。

(実習指導負担金の納付)

第 8 条 学習館で、紙すき実習指導(以下「指導」という。)を受けるときは、規則第 5 条に基づく使用許可申請の際にその旨記載し、許可を受けなければならない。この場合において、指導の許可を受けた者は、別表第 2 に規定する額(以下「負担金」という。)を第 7 条第 1 項に定める使用料と同じ方法・時期で納付しなければならない。

- 2 規則第 11 条による使用料の減額又は免除を受けた使用者は、前項に定める負担金を、減額し、又は免除する。

(使用料、弁償金及び負担金の減額及び免除)

第 9 条 使用料、弁償金及び負担金の減額及び免除は、次の各号に掲げる区分及び比率による。

- (1) 市又は紙すき推進委員会が主催する行事に使用するとき 10割
- (2) 市内に在住、在学又は在園する生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が平日に使用するとき 10割
- (3) (2)に該当する団体が平日以外に使用するとき 5割
- (4) 市内に在住、在学又は在園しない生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が平日に使用するとき 5割
- (5) (4)に該当する団体が平日以外に使用するとき 3割
- (6) 身体障害者手帳、療育手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者が半数以上を占める団体が使用するとき 10割
- (7) その他委員会が特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(使用料、弁償金及び負担金の還付)

第10条 使用料、弁償金及び負担金の還付は、次の各号に掲げる区分及び率による。

- (1) 使用者の責に帰することができない理由により使用できなくなったとき 10割
- (2) その他委員会において特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

(使用料、弁償金及び負担金の還付申請)

第11条 使用料、弁償金及び負担金の還付を受けようとする者は、和紙学習館過誤納還付申請書を委員会に提出しなければならない。

(推進委員会への委託)

第12条 学習館の紙すき実習指導をするために必要な事項を「西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館名塩和紙紙すき推進委員会」(以下「推進委員会」という。)に委託する。

(推進委員会規約)

第13条 推進委員会は、次に掲げる項目について規約を定め、委員会に報告しなければならない。

- (1) 設置目的及び事業内容
- (2) 設置場所
- (3) 役員、職員に関する事
- (4) 実習指導員、実習準指導員及び助手に関する事
- (5) 推進委員会の会議の運営に関する事
- (6) 会計及び監査に関する事
- (7) 規約の改正に関する事
- (8) その他細目に関する事

(実習指導報償費)

第14条 委員会は、推進委員会に対し実習指導報償費として推進委員会からの報告に基づき翌月に支払うものとする。

(委任)

第15条 この要綱に定める申請書その他の書類の様式及びこの要綱の施行について必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係) 使用各室の定義

室名	定義
集会室	会議、実技等多目的に使用する部屋
実習室	紙すき実習を主たる目的に使用する部屋

別表第2 (第8条関係) 実習指導負担金

使用人数	実習指導負担金額
10人から16人まで	11,000円
17人から24人まで	13,500円
25人から40人まで	16,000円

備考 使用者が市外居住者の場合の負担金は、本表に規定する額の倍額とする。

4. 西宮市教育文化センター管理規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第9号)

沿革

- 昭和63年7月25日 西教委規則5号〔1〕
- 平成4年7月16日 西教委規則3号〔2〕
- 平成11年5月11日 西教委規則3号〔3〕
- 平成12年3月31日 西教委規則19号〔4〕
- 平成13年4月10日 西教委規則2号〔5〕
- 平成16年1月14日 西教委規則8号〔6〕
- 平成18年3月8日 西教委規則12号〔7〕
- 平成19年3月14日 西教委規則15号〔8〕

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立図書館条例(昭和36年西宮市条例第3号)により設置された西宮市立中央図書館(以下「中央図書館」という。)、西宮市立ギャラリー条例(昭和59年西宮市条例第16号)により設置された西宮市立市民ギャラリー(以下「ギャラリー」という。))及び西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号)により設置された西宮市立郷土資料館(以下「資料館」という。))の管理に関して、別に定めるもののほか、必要な事項を定める。〔5〕

(教育文化センター)

第2条 この規則においては、中央図書館、ギャラリーおよび資料館により構成される施設を総称して、西宮市教育文化センター(以下「センター」という。)という。

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第10号)に定めるところによる。
- (2) ギャラリー 午前10時から午後6時まで。ただし、入館は午後5時30分まで
- (3) 資料館 午前10時から午後5時まで。ただし、入館は午後4時30分まで

〔1〕〔3〕〔7〕〔8〕

2 前項の規定にかかわらず、西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。〔5〕〔8〕

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、臨時に休館し、又は変更することができる。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則に定めるところによる。
- (2) ギャラリー
ア 毎週月曜日
イ 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで

- (3) 資料館
ア 毎週月曜日
イ 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

〔1〕〔2〕〔5〕〔6〕〔8〕

(遵守事項)

第5条 センターに入館した者は、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 他人に危害をおよぼし、または迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 資料、展示品等を損傷し、汚損し、または滅失しないこと。
- (3) センターの管理上支障となる行為をしないこと。

〔4〕

2 ガラリーおよび資料館においては入館者は、前項に掲げるもののほか、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示品の近くでインク、墨等を使用しないこと。
- (2) 特に指定したものを除き、展示品に触れないこと。
- (3) 委員会の許可を受けないで資料および展示品の模造、模写、撮影等を行わないこと。

(原状回復等)

第6条 センターの施設、設備または資料、展示品を損傷し、または滅失した者は、それを原状に復し、または委員会が相当と認める損害額を賠償しなければならない。〔4〕

(教育長への委任)

第7条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。〔4〕

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則(昭和63年7月25日西教委規則第5号〔1〕)

この規則は、昭和63年9月1日から施行する。

付 則(平成4年7月16日西教委規則第3号〔2〕)

この規則は、平成4年8月1日から施行する。

付 則(平成11年5月11日西教委規則第3号〔3〕)

この規則は、平成11年6月1日から施行する。

付 則(平成12年3月31日西教委規則第19号〔4〕)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成13年4月10日西教委規則第2号〔5〕)

この規則は、平成13年4月20日から施行する。

付 則(平成16年1月14日西教委規則第8号〔6〕)

この規則は、平成16年2月1日から施行する。

付 則(平成18年3月8日西教委規則第12号〔7〕)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成19年3月14日西教委規則第15号〔8〕西宮市立図書館条例施行規則及び西宮市教育文化センター管理規則の一部を改正する規則2条による改正付則)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

西宮市立郷土資料館報 平成 25 年度 (2013 年度)

編集・発行 西宮市立郷土資料館

兵庫県西宮市川添町 15 番 26 号

郵便番号 : 662-0944

電話 : 0798-33-1298

internet pages : <http://www.nishi.or.jp>

発行年月日 平成 26 年 (2014 年) 6 月 1 日